

5. 学生の受け入れ

中期目標

- (1) 本学の理念・目的及び「学生受け入れの方針」について、社会への周知に努める。
- (2) 入学者選抜試験は公正かつ適切に実施する。
- (3) 入学定員及び収容定員の適正な管理に努める。
- (4) 学生募集に係る広報活動の充実を図る。
- (5) 本学の国際化を推進し国際的通用性の高い教育研究を推進するため、留学生・研究生の受け入れを積極的に行う。

中期計画

- 【14】 本学の理念・目的及び「入学者受け入れの方針」については学生募集要項等に明示すること、本学ウェブサイトに公表すること、進学ガイダンス及びオープンキャンパス等において説明すること等により、社会への周知を図る。

取り組み状況及び課題等

1) 本学においては、建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、時代の求める高い専門性、豊かな人間性及び教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することのできる人材の育成を図ることを理念・目的としておりますが、学生の受け入れに当たっては、学部・大学院ともこれらの理念・目的及び「入学者受け入れの方針」を大学案内及び学生募集要項に明記しております。

また、「入学者受け入れの方針」については、本学のウェブサイトに公表しており進学ガイダンス及びオープンキャンパス等において説明を行う等社会への周知を図っております。

2) 入学者受け入れの方針の一部改正について。

(1) 平成 26 年度に実施した平成 27 年度入学者選抜試験においては高等学校新学修指導要領に対応した入学試験を行うことから、次のとおり医療保健学部看護学科及び医療栄養学科、東が丘・立川看護学部の「入学者受け入れの方針」の一部改正を行いました。

① 医療保健学部看護学科及び医療栄養学科。

「入学者受け入れの方針」に明記している「高校で履修しておくことが望ましい教科・科目」の表記の改正を行ったこと。

(改正前)

なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物 I」「化学 I」を履修されていることを望みます。

(改正後)

なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

② 東が丘・立川看護学部。

「入学者受け入れの方針」に新たに次の文章を明記したこと。

「なお、本学科では、1 年次の授業科目である「自然科学の基礎」において、物理・化学・生物に関する基礎知識の定着を図っておりますが、入学後、無理なく学修を進めるために、高校においては必履修科目の中から物理基礎、化学基礎及び生物基礎をすべて履修するか、選択科目(物理、化学、生物)の中から 2 科目を履修することを望みます。」

- (2) また、「入学者受け入れの方針」においては、入学者選抜において学力を評価する基準等の内容が明記されていなかったことから「学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を踏まえて「入学者受け入れの方針」の見直しを行い(27.7.15)、ホームページに公表するとともにオープンキャンパス及び学校見学会で「入学者受け入れの方針」を配布する等、周知を図っております。
- (資料 21 「入学者受け入れの方針」の改正について)

中期計画

【15】入学者選抜試験は公正かつ適切に実施する。

- ・ 学部における入学者選抜については、高等学校学修指導要領の改訂・施行に伴い、平成 27 年度入学者選抜試験に向けて入試実施科目の見直しを適切に行う。
- ・ 入学者選抜の実施内容については、学部・研究科等の特色・特徴等を踏まえた改善・充実を図る。
- ・ 入学者選抜試験問題については、「学生受け入れの方針」に基づき適切に作成することとし、試験問題にミス等が生じないようにチェック体制の徹底を図る。
- ・ 入学者選抜試験会場においては、入試実施上の注意事項の徹底を図るとともに試験監督を厳正に行う等、入学者選抜試験の公正かつ適切な実施に努める。
- ・ 入学者選抜試験関係業務の適切な実施に努める。

取り組み状況及び課題等

1) 学部の入学者選抜における入試実施科目の見直しについて。

平成 26 年度に実施した平成 27 年度入学者選抜試験においては高等学校学修指導要領の改訂・施行に伴い、入試実施科目の見直しを次のとおり行いました。見直しの内容についてはホームページにおいて公表する等、受験生に混乱を生じないように周知を図っております。

<一般入学試験の試験科目について>

- (1) 「国語(現代文のみ)」「数学Ⅰ・数学 A」の出題には変更がない。

「数学Ⅰ・数学 A」については新教育課程に合わせた出題範囲・内容の出題とする。

- (2) 現行試験科目の「生物Ⅰ」及び「化学Ⅰ」に対応する科目として、新教育課程の「基礎科目」をベースにして、新教育課程の「生物」及び「化学」の内容から項目を選択して、それぞれの基礎科目に付加した組み合わせ科目を出題する。

また、文系履修者のために「生物基礎＋化学基礎」も出題する。

- | | | | | |
|---|-------------|---|-------------|---------|
| ① | 生物基礎 (50 点) | + | 生物 (50 点) | 100 点満点 |
| ② | 化学基礎 (50 点) | + | 化学 (50 点) | 100 点満点 |
| ③ | 生物基礎 (50 点) | + | 化学基礎 (50 点) | 100 点満点 |

※理科を 2 科目選択する際、「生物基礎・生物」と「生物基礎・化学基礎」の組み合わせ選択、「化学基礎・化学」と「生物基礎・化学基礎」の組み合わせ選択は不可とする。

<センター試験利用入試の試験科目について>

大学入試センターが出題する科目の「国語」「数学Ⅰ・数学 A」「数学Ⅱ・数学 B」「情報関連基礎」「生物」「化学」「生物基礎・化学基礎」の 7 科目から、学科の特性に応じて選択条件を定めて、2 科目を利用する。

※センター試験利用入試において、選択科目で理科を 2 科目選択する際、同一名称を含む科目の組み合わせ選択は不可とする。

<旧教育課程履修者に対する経過措置>

数学及び理科の 2 教科に関しては、センター試験利用入試においては、経過措置として大学入試センターが出題する科目の中から選択できるものとし、一般入学試験においては、旧教育課程に基づく「数学Ⅰ・数学 A」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」の科目について選択問題を作成する等の配慮を行うこととする。

2) 入学者選抜の実施内容の改善・充実について。

平成 27 年度学生募集に当たっては、次のとおり募集定員等の変更を行いました。

今後も入学者選抜の実施内容については各学部・各学科の特色・特徴等を踏まえて適切に見直しを行い改善・充実に努めてまいります。

- ① 医療保健学部医療情報学科の平成 27 年度学生募集に係る A0 入試の募集定員について、8 月、9 月、10 月の A0 入試の募集定員と志願者数の乖離が生じているため次のとおり募集定員の見直しを行いました。

入試区分	入試実施月日	27 年度 募集定員	26 年度 募集定員
8 月 A0 入試	26. 8. 13 (水)	<u>10 名</u>	<u>5 名</u>
9 月 A0 入試	26. 9. 13 (土)	<u>5 名</u>	<u>8 名</u>
10 月 A0 入試	26. 10. 11 (土)	<u>8 名</u>	<u>10 名</u>
12 月 A0 入試	26. 12. 13 (土)	5 名	5 名
3 月 A0 入試	27. 3. 4 (水)	2 名	2 名
計		30 名	30 名

- ② 東が丘・立川看護学部の平成 27 年度学生募集に係る募集定員について次のとおり変更を行いました。

入試区分	入試実施月日	27 年度 募集定員	26 年度 募集定員
指定校推薦入試	26. 11. 15 (土)	<u>40 名</u>	<u>15 名</u>
第 2 期指定校推薦入試	—	—	<u>15 名</u>
公募制推薦入試	26. 11. 15 (土)	<u>20 名</u>	<u>10 名</u>
第 2 期公募制推薦入試	—	—	<u>10 名</u>
一般入試前期日程	27. 2. 4 (水)	100 名	100 名
一般入試後期日程	27. 2. 18 (水)	<u>20 名</u>	<u>30 名</u>
センター試験利用入試前期	—	15 名	15 名
センター試験利用入試後期	—	5 名	5 名
計		200 名	200 名

- ③ 東が丘・立川看護学部の指定校推薦入試の評定平均値の変更について。

同学部は平成 22 年度に設置し平成 26 年 3 月には第 1 期卒業生を社会に送り出しましたが今まで指定校推薦入試により入学した学生の成績は概ね良好であること、また第 1 期卒業生の看護師国家試験の合格率が 95.9%と高かったこと等から指定校推薦入試における評定平均値の見直しを行っても優秀な学生数の確保が可能であると判断し平成 27 年度入学生募集から次のとおり変更いたしました。

「指定校推薦入試の評定平均値「3.5 以上」→「3.8 以上」（医療保健学部看護学科と同じ）
なお、公募制推薦入試における評定平均値は、従前どおり「3.5 以上」です（医療保健学部看護学科と同じ。）」

3) 入学者選抜の公正かつ適切な実施について。

①「本学が求める学生像(アドミッションポリシー)」に基づき、意欲と能力のある学生を受け入れるため、A0 入試、推薦入試、一般入試(前期・後期)、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)など多様な入学試験を実施することとし、入学試験ごとに募集定員、出願資格、試験日程及び選考方法等を学生募集要項に明示しております。

②入学者選抜において透明性を確保するための措置としては、学生募集要項において各学部・学科が求める学生像を明記するとともに、各試験区分毎の募集人員、選考方法、試験科目の配点を明らかにしております。A0 入試については、A0 入学試験の方針を明示するとともに、提出された自己推薦書、課題論文の採点評価基準及び面接の着眼点等を明記しており、透明性の確保を図っております。

また、医療保健学研究科及び看護学研究科においては、一般入試、推薦入試に係る募集人員、出願資格、出願資格審査、試験日程及び選考方法等を学生募集要項等に明示して公正かつ適切な入試を行っております。

なお、入学試験の実施に当たっては、全教職員の協力のもと、入学試験実施委員会等を中心として適切かつ公正な入試を行っております。

中期計画

【16】 入学定員及び収容定員の適正な管理に努める。

- ・学部・研究科等の入学定員に基づき、適切な入学者数を受け入れるとともに収容定員の適正な管理に努める。

取り組み状況及び課題等

本学においては、毎年度入学定員に基づいて、適切な入学者数を受け入れることとしております。平成 27 年度においては、収容定員に対する学部全体の在籍学生数比率は 1.09、大学院全体の在籍学生数比率は 0.94 となっております。

大学院のうち医療保健学研究科においては収容定員を満たしておりませんが、同研究科においては社会からの要請に基づき平成 27 年度から入学定員を変更しないで博士課程に看護学領域、修士課程に看護実践開発学領域を設置していること等を踏まえ、今後入学定員を充足するよう努めてまいります。

(資料 22 「大学基礎データ(表 12)学部・学科、大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移」)

収容定員に対する学部全体及び大学院全体の在籍学生数比率について

27.5.1 現在

学部・研究科	学科・専攻	平成27年度 収容定員	在籍学生数	収容定員に 対する在籍 学生数比率
医療保健学部	看護学科	400	439	1.10
	医療栄養学科	400	427	1.07
	医療情報学科	320	318	0.99
東が丘・立川看護学部	看護学科	600	638	1.06
学部合計		1,720	1,882	1.09
医療保健学研究科	修士課程医療保健学専攻	50	43	0.86
医療保健学研究科	博士課程医療保健学専攻	12	9	0.75
看護学研究科	修士課程看護学専攻	60	60	1.00
看護学研究科	博士課程看護学専攻	4	6	1.50
大学院合計		126	118	0.94

中期計画

【17】 学生募集に係る広報活動の充実を図る。

- ・ 本学志望者等を対象として開催する進学ガイダンス・オープンキャンパス・入試説明会等の実施内容の充実を図るとともに、その実施概要については本学ウェブサイト公表する等広報の充実に努める。
- ・ 高等学校・塾等への積極的な広報活動により本学の認知度の向上に努める。
- ・ 大学案内及び大学紹介パンフレット等の記載内容の充実を図る。

取り組み状況及び課題等

- 1) 毎年度、本学志願者等を対象として進学ガイダンス・オープンキャンパス・入試説明会等を開催しておりますが、進学ガイダンス・オープンキャンパス等の実施内容については大学案内等に掲載するとともに本学ホームページに随時掲載して社会一般・高校生等への周知を図っております。また、事務局入試広報部職員が本学の認知度の向上を図り学生募集につなげるため首都圏及び関東近隣の高等学校・塾等を定期的に訪問しておりますが、その際にオープンキャンパス等のリーフレット・チラシを多数持参しており本学が主催するイベント等の周知を行っております。オープンキャンパス等においては各学部各学科教員による説明のほか、在学生から本学入学を志望した理由・受験勉強のこと・学生生活等の説明を行うとともに、本学卒業生を招いて大学在学中に特に取り組んだこと及び現在の勤務先の仕事の内容等について説明を行っており、説明後には質問にも答えております。なお、オープンキャンパス等終了後のアンケート結果では参加者から「大変参考になった」「説明が分かりやすかった」「本学を是非受験したい」等高い評価を得ております。オープンキャンパス等の実施内容については今後も充実に努めてまいります。
- 2) 学部の大学案内については本学志願者及び資料請求者のニーズに対応するため、医療保健学部及び東が丘・立川看護学部それぞれの学部案内のほかに、本学が設置する学部・大学院全体の概要等を盛り込んだ大学の総合案内の冊子を作成し配布しております。今後も大学案内及び大学紹介パンフレット等の記載内容の充実を図ってまいります。なお、資料請求者及び本学のオープンキャンパス等の行事参加者へは、ダイレクトメール等により最新情報の提供を行っております。

中期計画

【18】 本学の国際化を推進し国際的通用性の高い教育研究を推進するため、留学生・研究生の受け入れを積極的に行う。

- ・ 外国からの留学生・研究生については、授業料等の経費について配慮を行う等、受け入れ環境の整備を図る。

取り組み状況及び課題等

外国からの留学生及び研究生の受け入れはありませんが、「国際交流に関する基本方針」に基づき本学の国際化を推進し国際的通用性の高い教育研究を推進するため、今後、留学生及び研究生の積極的な受け入れを検討してまいります(資料7「国際交流に関する基本方針」)。

なお、本学の国際化に向けて教職員・学生に係る海外派遣・海外研修を積極的に推進すること、海外研修等の研修先との相互交流の推進を図ることとしておりますが、毎年度学部学生を対象としたアメリカハワイ大学等における全学合同海外研修を実施していることから、国際交流委員会においては研修先との相互交流に向けて検討を進めることとしております(中期計画【5】参照)。

また、アメリカとの交流以外に、近年、東南アジア諸国との交流の可能性が高まっていることから、将来的にそれらの国々の看護師育成について、高等教育の側面から協力を行いつつ、ある程度日本語の語学力を有する人材を留学生として本学に受入れることなどを推進してまいります。

根拠資料

資料 21 「「入学者受け入れの方針」の改正について」

資料 22 「大学基礎データ(表 12)学部・学科、大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移」

資料 7 「国際交流に関する基本方針」

27. 7. 15

大学経営会議

「入学者受け入れの方針」の改正について

1. 趣旨・概要

- (1) 平成 27 年 5 月 27 日付け文部科学省通知「平成 28 年度入学者選抜実施要項について」では、各大学においては、本要項に基づき大学入学者選抜を適切に実施するとともに引き続き入学者選抜方法の工夫・改善を進めることとし、入学者選抜を行うに当たり、公正かつ妥当な方法によって入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に判定することとされております。また、「入学者受け入れの方針」においては、抽象的な「求める学生像」だけでなく、入学志願者に高等学校段階までにどのような力を培うことを求めるのか、そうした力をどのような基準・方法によって評価するのかなどについて可能な限り具体的に示すことを求められております。
- (2) 本学の「入学者受け入れの方針」においては、「求める学生像」や「高等学校段階において履修しておくことが望ましい科目」については明記しておりますが、入学者選抜において学力を評価する基準等の内容が明記されていないことから、このたび本学の「学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を踏まえて「入学者受け入れの方針」の見直しを行い、別紙のとおり「入学者受け入れの方針」の改正を行うものです。なお、東が丘・立川看護学部看護学科においては、各入試における評価内容等の記述に加え求める学生像をより具体的に記述する等、「入学者受け入れの方針」を全体的に改正しております。

2. 施行年月日

平成 27 年 7 月 15 日。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）について

東京医療保健大学は、医療の現場に強く、豊かな国際感覚を備え、医療の情報化に対応し、他の専門職と協働してチーム医療を実現できる人材を育成いたしますが、入学者には次のような資質が求められます。

1. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を有すること。
2. 基礎学力と豊かな教養の上に、専門性への探究心を有すること。
3. 自ら課題を設定し、調べ、考えて問題解決を図ろうとすること。
4. 何事にも積極的に取り組むことができること。
5. コミュニケーション能力・表現力が豊かで、他と協調して物事を達成できること。
6. 社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ようとする事。
7. 科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に意欲を持って取り組むこと。

本学では、以上のような資質を有する学生を選抜するために、一般入試の他に、AO方式による入試、推薦入試、大学入試センター試験利用入試などの実施により多様な入学者選抜を行います。

これらの入学者選抜においては、①「知識・技能」 ②「思考力・判断力・表現力」 ③「主体性・多様性・協働性」という「確かな学力」を把握するとともに、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入試センター試験、調査書、小論文、総合問題、面接などを組み合わせ、多面的・総合的に評価を行います。

【医療保健学部 看護学科】

看護学科は、大学での看護の学びを、将来看護の実践に活かすという明確な意思と意欲を持った学生を求めています。では、それにふさわしい要素とはどのようなものでしょうか。もし皆さんや皆さんの家族が看護を受ける立場になった時、どのような看護師さんに看護してほしいと思いますか。

看護は、その人の視点に立って、心を思いやり、痛みを分かち合うことのできる人間的な温かさと豊かな知識、感性に裏打ちされた行動力、責任感、高い倫理性が求められています。そのためには、まず基礎学力の上に、自分の意見の表出や他者との交流を通して、厳しい中にも学ぶ楽しさを育てることのできる意欲と自律性を持った人が必要です。その理由は、看護の現場は絶えず変化しており、自ら考え判断し、行動することが要求されるからです。

現在の日本は超高齢社会を迎え、病気を抱えながら生活をする方々が増加しています。

看護の活躍の場も病院のみならず、地域や職場、家庭へと拡大しつつあります。

看護は最も身近にいる医療のスペシャリストとして、一人ひとりの生命・生活・人生に目を向け、病気や心の変化を的確に把握し、得られた情報を科学的な思考で判断して問題解決できる能力と、他の専門職と協働するコミュニケーション能力が求められています。

看護を実践することは、様々な人々への援助を通して、自分自身を見つめ、自らを磨き、生涯にわたって成長しようとする過程そのものです。大学を生涯の基盤づくりの場として考え、新しい時代の看護に飛躍する第一歩として欲しいと願っています。

なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」または「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

A O方式による入試

予め提示するキーワードを基に、知識・能力を活用して作成する小論文により、受験生の思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点を置いた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

推薦入試

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性などに重点を置いた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般入試

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から自由に2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

大学入試センター試験利用入試

大学入試センター試験の得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点を置いて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から自由に2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

【医療保健学部 医療栄養学科】

健康と食生活の関係が重視されていることから、医療現場での管理栄養士の役割はますます大きくなっています。医療栄養学科では、医療の専門家の連携による「チーム医療」の一員として、参画できる管理栄養士の養成を目指しています。現場に強い管理栄養士を育成していくために最も必要なものが医療現場とのつながりで、本学科の臨地実習には、NTT 東日本関東病院をはじめ、多くの病院や高齢者施設などを実習施設として

実践的な臨床教育を行います。

また、優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設し、医療現場に求められる管理栄養士を育成します。

「医食同源」という言葉もあるように人の健康を守る上で、医と食は切り離しては考えられません。特に、今日の少子高齢化社会への急激な変化に伴って生活習慣病対策は重要であり、管理栄養士はこれまで以上に病気の治療のみならず予防医学の観点から社会の要望に応える必要があります。さらに、医療現場に強い管理栄養士は、病院だけでなく学校、保健センター、福祉施設、事業所、食品会社、給食会社、スポーツ施設など、食と健康に関わる様々な職場でも求められています。

また、教育現場での食育の担い手として、安全な食事の提供を通して健康を支援することも重要です。

そこで、医療栄養学科では、食と健康に関する知識をより深く追求する意欲を持っている学生、人とコミュニケーションができる能力を持ち、社会・地域住民に対して健康の面で貢献したいと考えている学生、大学で学んだことを実生活で一層有効活用したいと考えている学生を歓迎します。

なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

AO方式による入試

事前に課題を与えて、知識・能力を活用して、その解決に向けて探究した結果をとりまとめた課題論文により、思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点を置いた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

推薦入試

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性・協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・表現力・主体性・人間性などに重点を置いた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般入試

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から、理科を1科目、国語・数学のいずれかの教科から1科目の2科目を選択解答する方式により、本学科の求める「理科」の素養・知識などを含めた学習能力を判定します。

大学入試センター試験利用入試

大学入試センター試験の得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点を置いて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の

3教科5科目の中から、理科を1科目、国語・数学のいずれかの教科から1科目の2科目を選択解答する方式により、本学科の求める「理科」の素養・知識などを含めた学習能力を判定します。

【医療保健学部 医療情報学科】

医療情報は、患者さんに最適な医療を行うために用いられ、さらに新たな治療法や機器の研究・開発を的確に行う材料になるなど、医療活動を円滑に推進する原点です。医療を行う医師や看護師、その他の医療関係者、福祉関係者はこれらの情報をもとに方向性を決めます。したがって、医療情報を扱う人は必要な情報を的確に収集、解析、加工し関係者に伝える力と、仕事に対する明確なポリシーや責任感、高い倫理観を持った人材が求められます。医療情報学科は、何事にも積極的で高い倫理観を持つ人を求めています。

病院など医療の現場で、情報がどのように利活用されているかを知ることは、医療情報を的確に医療関係者に伝達し、より質の高い医療を提供するチームの一員となる第一歩です。新しい医療情報の活用や的確で効果的な情報の提供について議論するために、コミュニケーション能力が必要です。医療情報学科は、医療だけでなく広く社会に関心を持ち、自分の考えを積極的にコミュニケーションできる人を求めています。

これからの医療においては、患者さんと医療提供者を仲立ちし、医療現場と企業とを連携するコミュニケーターとしての役割が益々重要となります。医療情報学科は、「新しいことや新しい領域を切り開きたい意欲」と「人間・社会に貢献したい高い志」を持った学生を歓迎します。

本学科を希望される方に対して、高等学校で履修すべき科目や取得が望ましい資格の指定は特にありません。ただし、医療情報を扱うには高い倫理観が必要です。例えば科目「社会と情報」や「情報の科学」の内容に含まれる情報の伝達手段の信頼性、情報の信憑性、情報発信にあたっての個人の責任、プライバシーや著作権への配慮などについて学び、高い意識を持つことを期待します。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

A O方式による入試

自己推薦書により、高等学校教育までに育まれた「確かな学力」を中心に、本学が求める資質についての評価を行います。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点を置いた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

推薦入試

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性・協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・表現力・主体性・人間性などに重点を置いた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般入試

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から自由に2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

大学入試センター試験利用入試

大学入試センター試験の得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点を置いて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科7科目の中から自由に2科目を選択解答する方式により、文系から理系までの広い範囲や得意とする特定分野があるなど、受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

【東が丘・立川看護学部 看護学科】

東が丘・立川看護学部では、豊かな感性と実践力を持ち、未来の日本の医療・保健・福祉を支える看護師＝tomorrow's Nurseを養成します。

看護師は、患者さんとそのご家族にとって最も身近な医療職であり、チーム医療のキーパーソンとして、患者さんの療養生活を支える役割を担っています。医療の高度化・複雑化に伴って、病気と闘う人々が抱える問題も多様化・複雑化しています。それぞれの問題をタイムリーに把握し、的確に対処するためには、他者に対する感受性に加えて、高度な知識と技術に基づく実践力が必要です。東が丘・立川看護学部では、国立病院機構のネットワークを活かし、臨床現場での実習や他職種との連携・交流を通して、チーム医療を支え、的確な看護を提供するための実践力を備えた、質の高い看護師を育てます。

看護師は、生涯にわたって自分を磨き続け、常に自己開発ができる素晴らしい職業です。看護学を学び、看護の実践を通して自己啓発し、自らのキャリアを開拓・創造する能力を身につけてほしいと願っています。

看護学を学ぶ学生には、生命の尊厳を理解し、知的好奇心をもって看護を探求する姿勢が必要です。基礎学力を備えていることは当然ですが、何事にも興味を持って取り組む姿勢が大切です。本学部ではさらに、看護を通して「自己を開発したい！自分を磨きたい！」という情熱と、未来の臨床現場を担う決意と高い志を持った学生を求めています。

なお、本学科では、1年次の授業科目である「自然科学の基礎」において、物理、化学、生物、数学に関する基礎知識の定着を図っておりますが、入学後、無理なく学修を進めるために、高校においては必履修科目の中から物理基礎、化学基礎及び生物基礎をすべて履修しているか、選択科目（物理、化学、生物）の中から2科目を履修していることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

推薦入試

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動での主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。総合問題では、医療・保健・福祉に関する設問を通して、柔軟な思考力・判断力、的確な表現力の評価を行います。面接では、意欲・表現力・主体性などに重点を置いた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般入試

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から自由に2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

大学入試センター試験利用入試

大学入試センター試験の得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点を置いて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から自由に2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

IV 学生の受け入れ

(表12) 学部・学科、大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

<学部>

学部名	学科名	入試の種類		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年度 入学者の 学科計に対す る割合(%)	2015年度 入学者の 学部計に対す る割合(%)
医療保健学部	看護学科	一般入試	志願者	1,548	1,511	1,604	1,572	1,624	69.8	25.8
			合格者	243	258	261	313	302		
			入学者(A)	84	76	71	83	74		
			入学定員(B)	70	70	70	70	70		
			A/B	1.20	1.09	1.01	1.19	1.06		
		AO入試	志願者	89	120	113	106	91	7.5	2.8
			合格者	12	10	10	8	8		
			入学者(A)	12	10	10	8	8		
			入学定員(B)	10	8	8	8	8		
			A/B	1.20	1.25	1.25	1.00	1.00		
		指定校推薦入試	志願者	14	16	14	19	14	13.2	4.9
			合格者	14	16	14	19	14		
			入学者(A)	14	16	14	19	14		
			入学定員(B)	10	12	12	12	12		
			A/B	1.40	1.33	1.17	1.58	1.17		
		公募制推薦入試	志願者	28	45	50	44	41	9.4	3.5
	合格者		10	10	11	10	10			
	入学者(A)		10	10	11	10	10			
	入学定員(B)		10	10	10	10	10			
	A/B		1.00	1.00	1.10	1.00	1.00			
学科計		志願者	1,679	1,692	1,781	1,741	1,770	100.0		
		合格者	279	294	296	350	334			
		入学者(A)	120	112	106	120	106			
		入学定員(B)	100	100	100	100	100			
		A/B	1.20	1.12	1.06	1.20	1.06			
医療栄養学科	一般入試	志願者	477	453	578	505	482	72.2	27.2	
		合格者	215	215	196	202	223			
		入学者(A)	89	86	75	74	78			
		入学定員(B)	70	70	70	70	70			
		A/B	1.27	1.23	1.07	1.06	1.11			
	AO入試	志願者	29	30	44	39	35	9.3	3.5	
		合格者	15	12	12	11	10			
		入学者(A)	15	11	12	11	10			
		入学定員(B)	10	10	10	10	10			
		A/B	1.50	1.10	1.20	1.10	1.00			

学部名	学科名	入試の種類		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年度 入学者の 学科計に対す る割合(%)	2015年度 入学者の 学部計に対す る割合(%)
医療 保健 学部	医療栄養学科	指定校推薦入試	志願者	5	3	9	8	8	7.4	2.8
			合格者	5	3	9	8	8		
			入学者(A)	5	3	9	8	8		
			入学定員(B)	10	10	10	10	10		
			A/B	0.50	0.30	0.90	0.80	0.80		
		公募制推薦入試	志願者	9	26	20	15	24	11.1	4.2
			合格者	9	14	11	13	12		
			入学者(A)	9	14	11	13	12		
			入学定員(B)	10	10	10	10	10		
			A/B	0.90	1.40	1.10	1.30	1.20		
	学 科 計	志願者	520	512	651	567	549	100.0		
		合格者	244	244	228	234	253			
		入学者(A)	118	114	107	106	108			
		入学定員(B)	100	100	100	100	100			
		A/B	1.18	1.14	1.07	1.06	1.08			
	医療 情報 学科	一般入試	志願者	112	121	129	116	148	42.5	10.8
			合格者	87	103	104	83	123		
			入学者(A)	34	34	33	28	31		
			入学定員(B)	35	35	35	35	35		
			A/B	0.97	0.97	0.94	0.80	0.89		
		AO入試	志願者	32	27	38	53	34	43.8	11.1
			合格者	30	27	37	50	33		
			入学者(A)	30	27	37	50	32		
			入学定員(B)	30	30	30	30	30		
			A/B	1.00	0.90	1.23	1.67	1.07		
		指定校推薦入試	志願者	17	22	18	12	10	13.7	3.5
			合格者	17	22	18	12	10		
			入学者(A)	17	22	18	12	10		
入学定員(B)			10	10	10	10	10			
A/B			1.70	2.20	1.80	1.20	1.00			
公募制推薦入試		志願者	1	2	3	1	0	0.0	0.0	
		合格者	1	2	3	1	0			
		入学者(A)	1	2	3	1	0			
		入学定員(B)	5	5	5	5	5			
		A/B	0.20	0.40	0.60	0.20	0.00			
学 科 計	志願者	162	172	188	182	192	100.0			
	合格者	135	154	162	146	166				
	入学者(A)	82	85	91	91	73				
	入学定員(B)	80	80	80	80	80				
	A/B	1.03	1.06	1.14	1.14	0.91				
学 部 合 計	志願者	2,361	2,376	2,620	2,490	2,511		100.0		
	合格者	658	692	686	730	753				
	入学者(A)	320	311	304	317	287				
	入学定員(B)	280	280	280	280	280				
	A/B	1.14	1.11	1.09	1.13	1.03				

学部名	学科名	入試の種類		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年度 入学者の 学科計に対す る割合(%)	2015年度 入学者の 学部計に対す る割合(%)
東が丘・立川看護学部	看護学科	一般入試	志願者	987	1,322	1,325	1,395	1,336	50.7	50.7
			合格者	208	248	272	369	257		
			入学者(A)	105	84	76	122	103		
			入学定員(B)	75	75	75	150	140		
			A/B	1.40	1.12	1.01	0.81	0.74		
		指定校推薦入試	志願者	13	12	15	46	39	19.2	19.2
			合格者	13	12	15	42	39		
			入学者(A)	13	12	15	42	39		
			入学定員(B)	15	15	15	30	40		
			A/B	0.87	0.80	1.00	1.40	0.98		
		公募制推薦入試	志願者	24	51	34	101	86	30.0	30.0
			合格者	16	13	12	67	61		
	入学者(A)		16	13	12	67	61			
	入学定員(B)		10	10	10	20	20			
	A/B		1.60	1.30	1.20	3.35	3.05			
	学 科 計		志願者	1,024	1,385	1,374	1,542	1,461	100.0	\
			合格者	237	273	299	478	357		
入学者(A)			134	109	103	231	203			
入学定員(B)			100	100	100	200	200			
A/B			1.34	1.09	1.03	1.16	1.02			
学 部 合 計		志願者	1,024	1,385	1,374	1,542	1,461	\	100.0	
		合格者	237	273	299	478	357			
		入学者(A)	134	109	103	231	203			
		入学定員(B)	100	100	100	200	200			
		A/B	1.34	1.09	1.03	1.16	1.02			
大 学 合 計		志願者	3,385	3,761	3,994	4,032	3,972	\	\	
		合格者	895	965	985	1,208	1,110			
		入学者(A)	454	420	407	548	490			
		入学定員(B)	380	380	380	480	480			
		A/B	1.19	1.11	1.07	1.14	1.02			

<大学院研究科>

研究科名	専攻名	入試の種類		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	入学者の課程計に対する割合(%)	入学者の研究科計に対する割合(%)
医療保健学研究科	医療保健学専攻(修士課程)	一般入試	志願者	27	29	27	18	25	/	/
			合格者	23	26	26	18	25		
			入学者(A)	22	25	25	18	25		
			入学定員(B)	20	25	25	25	25		
			A/B	1.10	1.00	1.00	0.72	1.00		
		推薦入試	志願者	1	0	0	0	0		
			合格者	1	0	0	0	0		
			入学者(A)	1	0	0	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B							
		課程計	志願者	28	29	27	18	25		
			合格者	24	26	26	18	25		
	入学者(A)		23	25	25	18	25			
	入学定員(B)		20	25	25	25	25			
	A/B		1.15	1.00	1.00	0.72	1.00			
	医療保健学専攻(博士課程)	一般入試	志願者	2	2	2	2	5		
			合格者	2	2	2	2	5		
			入学者(A)	2	2	2	2	5		
			入学定員(B)	4	4	4	4	4		
			A/B	0.50	0.50	0.50	0.50	1.25		
課程計		志願者	2	2	2	2	5			
		合格者	2	2	2	2	5			
		入学者(A)	2	2	2	2	5			
		入学定員(B)	4	4	4	4	4			
		A/B	0.50	0.50	0.50	0.50	1.25			
専攻計	志願者	30	31	29	20	30				
	合格者	26	28	28	20	30				
	入学者(A)	25	27	27	20	30				
	入学定員(B)	24	29	29	29	29				
	A/B	1.04	0.93	0.93	0.69	1.03				
研究科合計	志願者	30	31	29	20	30				
	合格者	26	28	28	20	30				
	入学者(A)	25	27	27	20	30				
	入学定員(B)	24	29	29	29	29				
	A/B	1.04	0.93	0.93	0.69	1.03				

研究科名	専攻名	入試の種類		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	入学者の課程計に対する割合(%)	入学者の研究科計に対する割合(%)
看護学 研究科	看護学専攻 (修士課程)	一般入試	志願者	11	21	27	24	23	/	/
			合格者	7	16	20	20	20		
			入学者(A)	6	16	17	18	19		
			入学定員(B)	20	30	30	30	30		
			A/B	0.30	0.53	0.57	0.60	0.63		
		推薦入試	志願者	17	14	14	14	9		
			合格者	15	14	14	14	9		
			入学者(A)	15	14	14	14	9		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B							
		課程計	志願者	28	35	41	38	32		
			合格者	22	30	34	34	29		
	入学者(A)		21	30	31	32	28			
	入学定員(B)		20	30	30	30	30			
	A/B		1.05	1.00	1.03	1.07	0.93			
	(看護学専攻 博士課程)	一般入試	志願者	—	—	—	4	4		
			合格者	—	—	—	4	2		
			入学者(A)	—	—	—	4	2		
			入学定員(B)	—	—	—	2	2		
			A/B	—	—	—	2.00	1.00		
課程計		志願者	—	—	—	4	4			
		合格者	—	—	—	4	2			
		入学者(A)	—	—	—	4	2			
入学定員(B)	—	—	—	2	2					
A/B	—	—	—	2.00	1.00					
専攻計	志願者	28	35	41	42	36				
	合格者	22	30	34	38	31				
	入学者(A)	21	30	31	36	30				
	入学定員(B)	20	30	30	32	32				
	A/B	1.05	1.00	1.03	1.13	0.94				
研究科合計	志願者	28	35	41	42	36				
	合格者	22	30	34	38	31				
	入学者(A)	21	30	31	36	30				
	入学定員(B)	20	30	30	32	32				
	A/B	1.05	1.00	1.03	1.13	0.94				
大学院合計	志願者	58	66	70	62	66				
	合格者	48	58	62	58	61				
	入学者(A)	46	57	58	56	60				
	入学定員(B)	44	59	59	61	61				
	A/B	1.05	0.97	0.98	0.92	0.98				

- [注] 1 空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。
- 2 「A/B」「2015年度入学者の学科計に対する割合 (%)」「2015年度入学者の学部計に対する割合 (%)」は小数第2位まで求めてください。
- 3 学部・学科、博士課程前期（修士）課程、博士課程後期（博士）課程、専門職大学院等、各学位課程ごとに学生募集別で記入してください。
- 4 「入試の種類」は、大学の実態に合わせて作成してください。ただし、「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 6 学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。
- 7 留学生入試を実施している場合、交換留学生は含めないでください。
- 8 入学定員が若干名の場合は「0」として記入してください。
- 9 法科大学院において未修・既修を分けて入試を実施していない場合は、両者をひとつにまとめて記入してください。

東京医療保健大学感染制御学研究センター規程

(趣旨)

第1条 感染制御学に関わる教育研究の充実発展を図るため「東京医療保健大学感染制御学研究センター」(以下「感染制御学研究センター」という。)を設置し、国際的通用性の高い教育研究を組織的に推進する。

(所掌事項)

第2条 感染制御学研究センターは、国際交流委員会、国際交流センターと連携して次の業務を行う。

- (1) 感染制御学の分野で基礎、応用研究を行うこと。
- (2) 感染制御を目指した新たな学問拠点を形成すること。
- (3) 国内外における感染制御の貢献に関すること。
- (4) その他、感染制御学に関わる教育研究に関すること。

(構成員)

第3条 感染制御学研究センターの構成員は次のとおりとし、センター長は医療保健学研究科長をもって充てる。

- (1) 本学関係者。
教員の中から大学経営会議で任命する者。
大学経営会議室長、事務局長、研究協力等推進部長、大学院事務長。
- (2) 大学経営会議において任命する外国大学の非常勤教授等。
- (3) その他、研究科長が必要と認める者。

(事務局)

第4条 感染制御学研究センターに関する事務は大学院事務室が担当する。

(その他)

第5条 この規程に定めるほか、感染制御学研究センターに関することについては、別途定めることとする。

(附則)

本規程は平成24年4月1日から施行する。